

みんなで  
つくる  
園の未来!

# 保育ナビ

6

2024  
JUNE  
<3/12>

大特集

## 子ども主体の保育で 持続可能な園へ

後編

保育の種  
子どもの健康を守るために  
熱中症

子どもに保育研究を伝える  
発達支援・身体活動  
「トロい」と呼ばれていた頃の話  
～子どもの生活と「不器用」

「人格」を軸とした人事と研修  
話した内容は大体忘れる  
—会議のあり方—

ミドルリーダーの役割とは？



園の風土づくりをリードする人  
園長 榊野 洋介 先生

開園以来掲げる園のキャッチフレーズに「自分を信じるみんなを信じる」があります。ミドルリーダーには、園のこうした風土づくりに貢献してもらいたいと思っています。

ただ、当園には20代から70代まで、経験年数や役割が異なる45人程度の職員が在職しています。

層が厚く、経験年数による先輩・後輩があり、また、仕事内容による役割の違いもあります。

この中で「リーダー」を担う人は、各状況に応じて、キャッチフレーズに即した役割を担わなければならないわけですが、この「変化」こそ、まず、ミドルリーダーに期待することです。

そして、園の保育を体現する中

デルとして、現場の後輩に背中を仕事を見せる役割もあります。

一方、マネジメント層に対しては、子どもの思いつかい、保育者同士の関係性など現場感を、その人なりの言葉で表現して伝えてくれる。

このような姿こそが、園の風土を形づくっていくように感じています。

[DATA]

学校法人榊野学園  
ちくさこども園  
園長 榊野洋介  
住所：群馬県沼田市  
柳町 394  
開園：1963年  
定員：1号認定(25人)  
2・3号認定(110人)



廊下の壁には「おさんぽまっぷ」  
10:00のおやつが終わり、身支度して散歩へが貼られている。



散歩へ  
この日の目的は虫探し。近くに春になるとたくさんの虫が見られる場所があり、そこが冬の時期にはどうなっているか見に行きた。歩きながら「山がきれいに見えるよ」など、子どもの興味を引き出す言葉かけも。



給食  
園に戻ると給食の時間。子どもたちと一緒に。給食が終わりに近づくと、子どもたちが食べた量や食べ残しなどをタブレットを用いて細かく記録。「○○ちゃん、おかわりして？」など各保育者にも確認する。

給食後、絵本の読み聞かせが終わると、子どもたちは午睡へ。



ドキュメンテーション用  
素材写真のチェック  
午前中の遊びを振り返りながら写真確認。ドキュメンテーションは一人分ずつ作成。「○○ちゃんの散歩の写真ある？」などと声を掛け合いながら、だれがどの子の分を作成するか決める。できあがり、送信する前に全員分の内容を確認する。



打ち合わせ  
内容は、新入園児について。3月の説明会の時に配布する資料についてなど話を詰めていく。

休憩をとったのち、午睡が終わった子どもたちのおやつ準備に。

～はじめに～

取材に伺ったのは1月末。節分が近いこの日は、その打ち合わせから始まりました。



職員室で打ち合わせ  
主任と打ち合わせ。主な内容は節分をどうするかについて。お菓子や恵方巻の準備、鬼の役割などを相談。ちなみに、園では、保育者を「～先生」とは呼ばず「～さん」と呼ぶ。



出欠状況の確認  
保育室へ移動。この日の登園は20人。出欠状況、保護者からのメッセージをタブレットでチェック。



クラスの保育者と打ち合わせ  
2歳児担当の保育者は5人。各保育者に、その日の予定、伝達事項を伝え、指示を出していく。



クラスの保育者と打ち合わせ  
2歳児担当の保育者は5人。各保育者に、その日の予定、伝達事項を伝え、指示を出していく。

クラス全体の様子に目を配りながら、子どもたちの遊びを促したり、保育者をサポートしたりする。この日は、節分が近いことから、豆まき遊びの鬼役に。子どもたちも大喜び。

密着！ミドルリーダーの

しごと

「ミドルリーダー」と呼ばれる立場にある保育者の役割は園によってそれぞれです。毎月、その1日を取材し、仕事の様子を紹介しします。

第3回 ちくさこども園(群馬県沼田市)

(4・5・6月号) 監修 秋田喜代美(学習院大学)  
写真/遊辺 悟  
※2024年1月に取材



今回の「ミドルリーダー」

瀬澤 花恵 先生  
(保育歴：25年目)  
副主任(未満児統括)、くま組(2歳児)担任。0・1・2歳児クラスの保育者をまとめるリーダー。

この日の流れ

- 8:50 打ち合わせ
- 9:00 クラスの保育へ
- 10:20 散歩
- 11:45 給食
- 12:15 午睡
- 13:00 ドキュメンテーション用素材写真チェック
- 13:15 打ち合わせ
- 14:00 休憩
- 15:00 午後の保育

◆仕事で大事にしていることは？

第一は「コミュニケーション」です。子どもたちや保育者には、なるべく段差なく接したいので、普段から話しかけられやすい雰囲気を作っています。一方、保護者の方には、まず、心をほぐすような対応ができるよう気を付けています。

その次には、多様性や価値観の理解です。当園には、20代から70代まで幅広い世代の職員が働いています。園には非常勤職員の方も多いため、立場に関係なく働きやすい職場環境づくりも私の大事な役割だと感じます。

◆これからの目標は？

視野をもっと広げていくことです。大きな目標は「二児」で留まらず、テフアリティに関心があります。また、身近なことでは、現在、保育以外の世界にもふれるよう、異業種の人々と積極的に交流しています。毎回、多様なものの見方、考え方に気付かされます。保育についてだれかに伝える時も、「正解は一つ」となってしまうのは望ましくないと思っています。自分の保育を見直せるきっかけをもらっています。人間としての幅、深みや厚みが増すと思っています。